

**研究タイトル： 産業の発展と移民ネットワークとの連関にかんする研究**


氏名：	安里 陽子	E-mail：	asato@gifu-nct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(現代アジア研究)
所属学会・協会：	日本華僑華人学会、日本マレーシア学会、同時代史学会、 Inter-Asia Cultural Studies Society		
キーワード：	移民、華人、コロニアリズム、東南アジア、沖縄、パイン産業		
技術相談 提供可能技術：	・編集(おもに雑誌)		

**研究内容：**

私はこれまでシンガポールや沖縄・八重山諸島の石垣島において、現地化した華人の歴史と文化が注目を集めるようになった経緯に着目し、社会の変遷との関係について研究をおこなってきました。具体的には、シンガポールやマレーシア、タイ・プーケット、インドネシアなどにおいてプラナカン(Peranakan)または海峡華人などと称されてきた現地化した華人や、琉球華僑と称される沖縄の台湾系住民の歴史と文化が、社会の変遷のなかでどのように表象されてきたのか研究を進めてきました。

現在取り組んでいるのは、ハワイや台湾、英領マラヤ、沖縄など帝国の周縁とされた場所におけるパインアップル加工産業の発展経緯と移民ネットワークとの連関をテーマにした研究です。研究対象である米軍占領期沖縄のパイン産業は、戦前期に同産業を発展させた台湾系住民の貢献をはじめ、戦後の沖縄で当時の統治主体であった琉球列島米国民政府(USCAR)による外資導入政策や日本政府による特惠措置などで発展したとされています。また、技術の導入には琉球列島米国民政府によるハワイなどでの技術研修をはじめ、アメリカ主導の研修事業が大きな影響を及ぼしたことが考えられます。これらの研修事業には沖縄から相当数が派遣されたにもかかわらず、パイン産業はもとより糖業や他の分野においても、その連関についての研究は端緒についたばかりです。

いま取り組んでいる研究では、これらの研修事業には台湾系住民やハワイの沖縄系住民など、さまざまな移民ネットワークが関係していたことに着目し、米軍占領期沖縄におけるパイン産業を事例に、産業の発展経緯について冷戦期のアジア太平洋各地で実施された米国主導の研修事業と移民ネットワークとの連関を軸に明らかにしたいと考えています。

**提供可能な設備・機器：**
**名称・型番(メーカー)**

名称・型番(メーカー)	